2023 年 9 月 27 日
東銀リース株式会社

アウトソーシング機器について環境価値提供サービスを導入
―データセンターへのアウトソーシング機器を再生可能エネルギー１００％にて稼働―

東銀リース株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 藤末 浩昭、以下、「当社」）は富士通 Japan 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：長堀 泉、以下、富士通 Japan）および富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：時田 隆仁、以下、富士通）が提供する富士通データセンターの環境価値提供サービスを採択し、9 月 1 日から導入いたしましたので、お知らせいたします。

記

【 サービス導入の目的 】

カーボンニュートラル達成に向け、企業は自らの温室効果ガス（以下、GHG）排出量削減に加えて、利用する他社サービス等の間接的な GHG 排出量削減が必要となります。一方で、約 8 割以上の企業がカーボンニュートラル達成に対し課題を抱えていることが明らかになっています。

当社は、「気候変動対応・環境保全－カーボンニュートラルの実現へ－」を環境分野におけるマテリアリティとして認識しており、事業活動を通じた気候変動への対応や地球環境の保全の実現に貢献するための取り組みとして、データセンターにて稼働中の当社アウトソーシング機器が使用する電力を再生エネルギーにより供給可能な「環境価値提供サービス」（※1）を導入。当社内システム運用におけるカーボンニュートラルを実現しております。

（※1）「環境価値提供サービス」…富士通および富士通 Japan が富士通データセンター（以下、DC）を利用するユーザのサプライチェーン全体での GHG 排出量削減活動の加速に貢献することを目的とし、ユーザへの環境価値（※2）の提供を 2022 年より開始したサービス。

（※2）環境価値とは、GHG を排出しない方式で発電されたエネルギーは「GHG を排出しない」という、環境活動上で認められる価値のこと。

図 1：環境価値提供サービスのイメージ

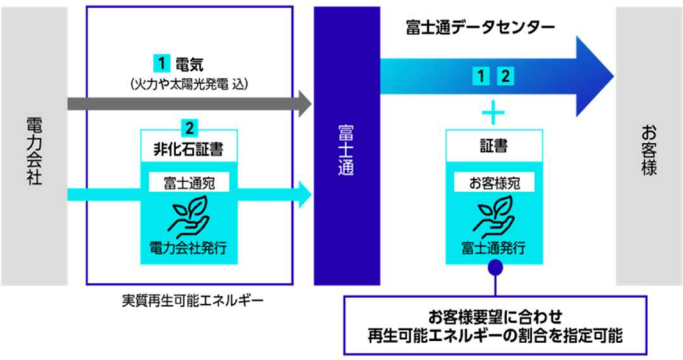

図 2：環境価値提供サービスによる削減効果

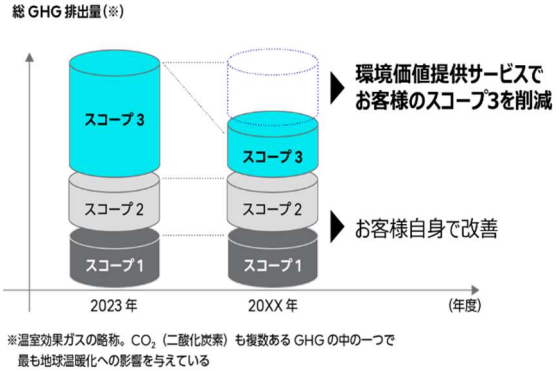

図3：「CO2削減に貢献している」価値を示す証書例（2023年9月実績）

以　上

≪本件に関するお問い合わせ≫

東銀リース株式会社

システム部

TEL　：　03-3537-8035